

「次世代農林水産部会」の設置について

平成 30 年 2 月 21 日

福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会

福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会（以下、「本会」）は、このたび、農林水産分野を対象とする検討部会として「次世代農林水産部会」の設置を決定いたしました。

福島復興再生特別措置法に基づく法定計画である福島イノベーション・コースト構想においては、浜通り地域における農林水産業の復興・再生が重要な課題の一つとして位置づけられております。そのため国・福島県等は、避難指示の解除に伴い営農再開に向けた支援策を強化するとともに、「農林水産分野イノベーション・プロジェクト」等の施策を実施し、浜通り地域において、「先端技術を取り入れ日本農林水産業のフロンティアを目指す」こととしています。

本会は「民間企業等が一体となって福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与すること」を目的としており、本会においても、平成 29 年度より農林水産分野に関する検討を行ってきました。その結果、会員が有するシーズやノウハウ等を同構想の実現に生かす可能性について、一定の見通しを確認できたことから、添付資料のとおり、新たな検討部会を設置することといたしました。

本日より「次世代農林水産部会」に参加する会員を募集し、平成 30 年 4 月より活動を開始いたします。

本会は今後も、「次世代農林水産部会」を含むさまざまな活動を通じて、国・福島県等と連携し、福島イノベーション・コースト構想の実現に貢献してまいります。

以上

「次世代農林水産部会」の概要

平成 30 年 2 月 21 日

検討部会の名称	次世代農林水産部会
部会長	片平 光彦 (国立大学法人山形大学 農学部食料生命環境学科 准教授)
活動期間	平成 30 年 4 月 1 日より 3 年間
主な活動内容 (予定)	当面の活動内容として以下の 5 項目を予定しているが、参加する会員の専門分野・事業内容等によって、柔軟に見直しを行う。 (1) 浜通り地域で国際規格に準拠した農産物を生産できる拠点づくり (2) 福島イノベーション・コースト構想に準拠した水稻・畑作での大規模農業に適応した生産システムの構築 (3) 施設園芸や畜産業での IoT を活用した先進的なスマート農業の実践 (4) マーケットイン、マーケットメイクの視点からの農業問題の明確化 (5) 情報の共通化、標準化に準拠したプラットフォームを活用した取り組み
活動開始時に 設置予定のワー キンググループ (WG)	活動開始時に以下の 6 つの WG 設置を予定しているが、参加する会員の専門分野・事業内容等によって、再編成を行う可能性がある。 (1) 企画 WG (2) 国際認証・市場開発 WG (3) 農業用ロボット WG (4) データ標準化 WG (5) 先進実証農場 WG (6) 環境保全型農業 WG
参加会員の募集 期間 (当初)	本日より平成 30 年 4 月 13 日 (金) まで ※参加会員の募集に関する説明会 日時： 平成 30 年 3 月 5 日 (月) 15 : 00~17 : 00 場所： HSB 鐵砲洲 貸会議室 (東京都中央区湊 1-1-12) 参加ご希望の方は、末尾記載の事務局までお申し込みください。

<福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会について>

- 「民間企業等が一体となって福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与すること」を目的として、平成 28 年 3 月 11 日に設立された任意団体。
- 福島浜通り地域における新産業創出のさまざまな検討を行うとともに、民間企業等の「シーズ」を提供し、プロジェクト化を目指す。具体的には、浜通りにおける課題解決への協力、収益事業を通じた経済活性化への貢献等を行う。
- 本日現在の会員数は 112 会員（うち、正会員 91、賛助会員 21）。
- 幹事会員は、株式会社アトックス、スリーエム ジャパン株式会社、東京電力ホールディングス株式会社、株式会社東芝、株式会社日立製作所、株式会社三菱総合研究所の 6 社。
- ホームページ <http://bcics.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会
事務局 秋月・脇門

電話: 070-4133-0311

E メール: info@bcics.jp

以上